

maru-office

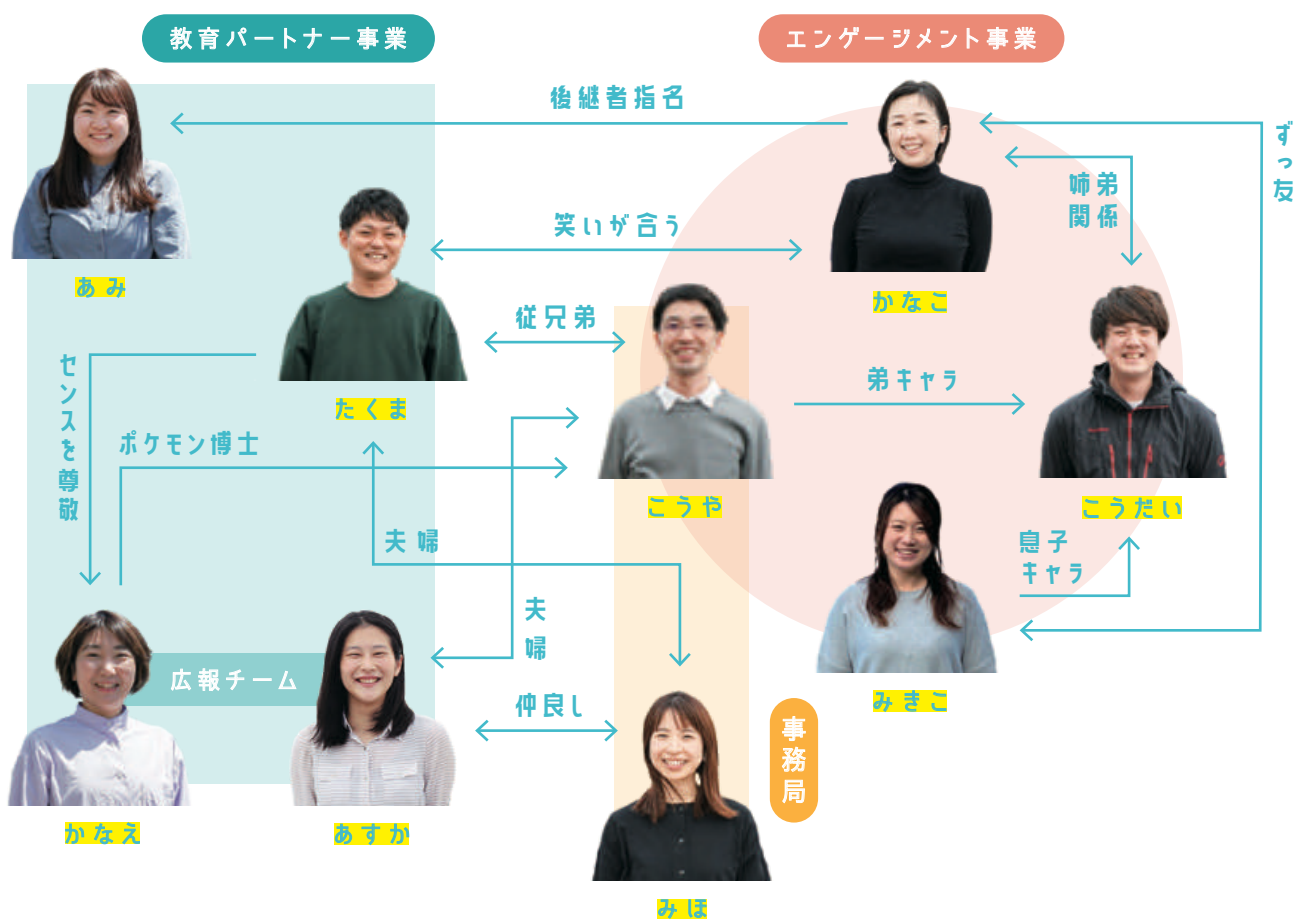
ANNUAL REPORT

2020

2020.04 - 2021.03

[一般社団法人まるオフィス年間レポート]

まるオフィス人物関連図



高速で変わり続ける、常にアップデートし続ける

2020年度は社会の大きな転機となり、まるオフィスにとっても大きな転機になりました。①復興支援系の助成金卒業、②寄付会員「まるクルー」が100名達成！100名の仲間向けのコンテンツ開始、③市教育委員会を通して学校教育に本格参入、④コロナ禍で高校生向けサービスや移住支援のオンライン化、⑤成人向け事業を卒業、3本あった事業の軸を2本に減らす。総じて、ある人に言われたことが象徴的です。「サークルからの脱却、正念場だね」

毎年スタッフやまるクルーの増減はありつつも、確実に輪が広がっています。元インターン生に「高速で変わり続けている、常にアップデートし変化し新しいワクワクに満ちている」団体だと評してもらったのが最高の褒め言葉でした。7期目のスローガンは「STAY HUNGRY, STAY FOOLISH」です。東日本大震災から10年経ってなお、落ち着きのない団体ですが、これからもよろしくお願ひします。

代表理事 加藤拓馬

VISION

津々浦々の
地元からわくわくが
輩出されている社会を

MISSION

地域ぐるみで次世代を
育てる仕組みをつくる
学びの仕掛人(ローカルマネジャー)
になります

一般社団法人まるオフィスは、宮城県気仙沼市で活動するまちづくり会社です。東日本大震災を機に気仙沼に移住した若者と地元の若者が2015年春に立ち上げました。2020年代に日本社会は都市集中型か地域分散型かの選択を迫られると言われてます。ローカルが元気であるためには、「学び」をアップデートする必要があります。絶対解を丸暗記する教育でも、まちの持続性のための教育でもありません。じゃあどんな学び？私たちは気仙沼といういちローカルから、わくわくしている人が輩出される地元の仕組みづくりに挑戦します。



祝！受賞

教育パートナー事業



まるオフィスによる気仙沼の教育パートナー事業、通称まるゼミ。
次の時代に求められる学びの探究と、地域と学校の協働の仕組みづくりを気仙沼からはじめています。

エンゲージメント事業



気仙沼に関わる人を増やし、地域内×外で起こる挑戦を応援するエンゲージメント事業部。気仙沼市移住・定住支援センターMINATOの運営も行っています。2020年度のMINATOはオンラインを中心とした移住イベントの企画や、お試し移住プログラムの開発を行いました。

移住者数：54名(昨対比180%)
移住相談件数：127件(昨対比212%)

若者向け人材育成事業

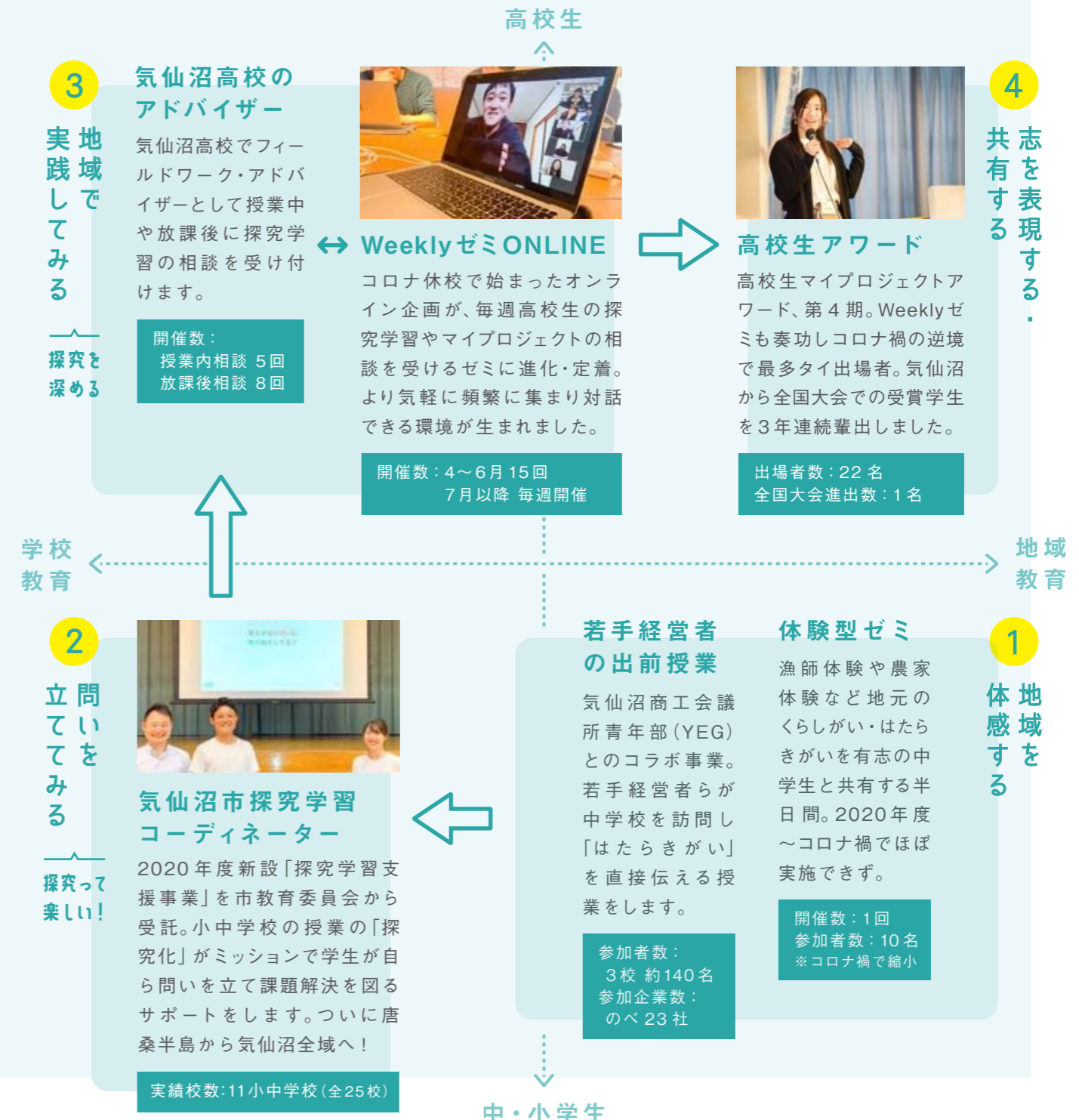


気仙沼の10～30代の若者を対象に、地域を知る・学びを得る・仲間と出会う・“やりたい”気持ちを応援するプログラムを実施。地域で活躍するまちづくりの担い手を育成します。

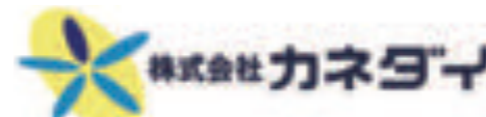
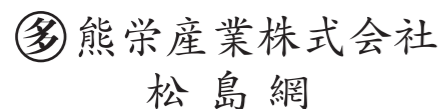
【ぬま大学】 講義回数：9回 受講生数：14名
【ぬま大学ラボ】 講義回数：3回 受講生数：21名
【ぬまトーク】 実施回数：3回 参加者数：のべ73名

〇〇 KESENUMA じもとまるまるゼミ 2020

>>>> 小中高のシームレスな「探究」を学校&地域ぐるみで応援



まるゼミパートナー



まるクルー 募集中!

自分の人生を自由に広げていく力を 地域から次世代に届けたい。

まるオフィスでは、教育パートナー事業「じもとまるまるゼミ」(通称まるゼミ)を通して、次世代を担う子どもたちの将来の選択肢を広げていく活動を行っています。地域から起こしていく学び・教育の変革に向け、皆さまからのご支援を受け付けております。気仙沼から社会全体の学びを変えていきたい、その想いを形にしていく仲間になってください!

マンスリーサポーター

活動へのご支援を毎月定額寄付にて受け付けております(1口1,000円~自動引落)。

マンスリーサポーターには、四半期に一度のシーズンレポートと年間レポートをお送りいたします。Facebook限定ページから日々の活動もご覧いただくことができます。

<http://maru-zemi.com/support/>

寄付ページ
はこちら



YouTubeチャンネル

まるゼミ
TV

動画レポート配信中!



その都度、自由な金額でのご寄付もありがたくお受けしています。

気仙沼信用金庫 本店(店番001)
普通預金 / 口座番号 0002218 /
社)まるオフィス

お振込者名の前に「キフ」とご明記ください。例:キフ ケセンヌマトロウ

収支報告

